

<b>タイトル</b>	知ろう！世界のこと。そして、自分たちのできることを考えよう！		
<b>名前</b>	出井 義雄		
<b>学校名</b>	奈良教育大学附属中学校		
<b>担当教科</b>	英語		
<b>実践教科</b>	英語、総合学習、 ホームルーム	<b>時間数</b>	5時間×4クラス 3時間×1クラス
<b>対象学年</b>	2年生	<b>対象人数</b>	148人

## カリキュラム案

### (1) 実践の目的

地球上にある様々な矛盾や不均衡について考え、今、自分たちにできること、また今後どのようなことができるのかを考え、持続可能な社会にするには何が必要かを考え、一步一步行動に移していく。

### (2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
<b>1限目</b> テーマ：「タンザニアってどんな国？」データから ねらい：タンザニアについてのデータから、どのような国なのかを想像する。	外務省と WHO が発表しているデータを使い、タンザニアと日本の ①乳児死亡率 ②就学率 ③平均寿命 について比較し、その違いはどこに起因するのか考える。 タンザニアの豊かな自然や日本とのつながりについて考える。	外務省データ WHO データ、写真
<b>2限目</b> テーマ：Nice to meet you. I am ～. ねらい：タンザニアの中学生に英語で手紙を書く。	授業者がタンザニアを夏休み中に訪れ、現地の中学生に手紙を渡すことを伝え、心を込めて手紙を書く。	
<b>3限目</b> テーマ：そうだったのか、タンザニア ねらい：タンザニアで撮った写真からタンザニアの国の姿の一端を知る。	パワーポイントや、「タンザニアクイズ」によるタンザニアの街・人・学校・子どもたちの様子を伝え、日本との違いや問題点に気づく。	パワーポイント ワークシート 「タンザニアクイズ」

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
<b>4 限目：</b> テーマ：文化祭に向けて ねらい：文化祭での展示発表' AFRICAFE に向けてタンザニアを初めとするアフリカの国々について詳しく調べる。	文化祭に向けて班でタンザニアを初めとするアフリカの数国を文化・言語・教育・食べ物など、また途上国における問題点をそれぞれできるだけ詳しく調べる。 「おいしいチョコレートの真実」から「児童労働」の問題を考える。	写真集 インターネット チョコレートの苦い真実 (DVD および教材) フォトラングー用の写真
<b>5 限目</b> テーマ：これでいいの？ ねらい：「おいしいチョコレートの真実」から児童労働の問題を考える。	DVD を視聴し、その後グループで意見交換をし、私たちのごく日常にあるチョコレートでさえ実は世界の厳しい現実を映し出していることに気づく。	DVD『おいしいチョコレートの真実』
<b>6 限目</b> テーマ：支援のあり方を考え、自分にできることを考える。 ねらい：日本がこれまで行ってきた支援の形について考え、今や将来にわたって自分たちにできることを考える。	日本が途上国へ行うのは、「援助」ではなく、その国の自立を目的とする「支援」であることと、青年海外協力隊員をはじめとする現地で活躍する人たちの姿を通して支援や国と国の絆の大切さについて考える。	パワーポイント ビデオ「地球データマップー世界の貧しさのためにできること」

## 実践授業の詳細

### < 1 限目：『タンザニアってどんな国？』 >

残念ながらタンザニアについて詳しく知る生徒はいない。そこで、タンザニアへの研修前の7月にタンザニアに関する基本データから「タンザニアってどんな国なんだろう？」と想像した。データは、国土・人口・就学率(小中高大)・乳児死亡率・平均寿命をそれぞれ日本とタンザニアとを比較しながら紹介した。そこからタンザニアという国を想像した。

Country	Tanzania	Japan
Elementary	7 years (83)	6 years (100)
Secondary	4 years (5)	3 years (100)
High	2 years (0.2)	3 years (97.5)
University	3 years	4 years (52) (77.7)

Country	Tanzania	Japan
Average	55.4	79.0

  

Country	Tanzania	Japan
1000人当たり	64.8	4.0

### < 2 限目：Nice to meet you. I am... >

タンザニアの子どもたちと日本の生徒の交流ができればと思い、日本の紹介(文化・学校のことなど)や簡単な自己紹介、またタンザニアの子どもたちへの質問やメッセージを英文で手紙を書いた。

### < 3 限目：そうだったのか、タンザニア >

本研修の参加者がタンザニアで撮った写真や、JICA 専門家や協力隊員の方々から伺ったことを基にしたパワーポイントを使い、改めてタンザニアという国の文化や人々、また直面している様々な課題について紹介した。1 学期、データから見るタンザニアで紹介したことと比較しながら考えることにより、データだけではわからないタンザニアの姿を知り、学んだ。

#### < 4 限目：『文化祭に向けて』 >

文化祭のクラス展示を「AFRICAFE」と題し、タンザニアをはじめとするアフリカの数カ国の文化・言語・教育事情・直面している課題などを班にわかれ、それぞれ本・インターネット・JICAの発行する雑誌などをソースに詳しく調べた。それと同じくして、『おいしいチョコレートの真実』を題材に児童労働の問題を取り扱った。生徒たちは日頃何気なく口にするチョコレートが自分たちと同じ、それ以下の多くの子どもたちの労働によって生産されていることにショックや怒り、悲しみなど様々感想を持ったことを彼ら視聴後の感想文から読み取ることができる。またこの日は授業参観日でもあったので、参観に来ていただいた保護者の方々も一緒に授業に参加していただき、この問題について考えていただくことができた。以下に生徒の感想文を載せさせていただく。

今日の授業で今まで知らなかった世界の現実（とても辛い）を知ることができました。私たちよりも小さい多くの子どもたちが学校にも行けず、カカオ農場で過酷な労働を強いられている現実。しかもその子どもたちは自分がどんな状況におかれているかもわかっていない子どももいました。一方、私たちは毎日当たり前のように学校に来て友達と笑い、教育を受けています。日本だけを見ているとこのことは当たり前なのですが、今日の授業で世界の多くの国ではこのことは当たり前でないことを知りました。でも世界がこのままで良いはずがありません。でも今の私たちに何ができるか今はわかりません。でも何かできることがあるかもしれません。この「何か」をこれから少しずつ考えていきたいと思いました。



この後男子の3名は文化祭で「児童労働」について自分たちで様々な資料を基にプレゼンテーション用のパワーポイントを作成し、文化祭当日、クラス展示に来た多くの生徒や保護者、職員の前で「児童労働」やアフリカにおける就学率の低さなどの格差や矛盾についてわかりやすく説明をし、多くの参加者へ訴えることができた。またウガリの試食や、写真でタンザニアの学校や子どもたちの様子を知らせることもできた。

#### < 5 限目：『これでいいの?』 >

まとめとして、これまでの日本の途上国に対する支援の仕方を紹介するとともに、緒方貞子さんの言葉、All the children in the world have the right…の意味を考えた。緒方さんが訴えるように、世界中の子どもに与えられている権利が保障されているのかをこれまでの学習と照らし合わせ考えた。また日本がこれまでに途上国におこなってきた支援のやり方から、支援の大切さや、人と人、国と国のつながることの大切





さを学んだ。また『地球データマップ』では、JICA 専門家による支援のあり方や、高校生たちが NGO の中心となり途上国に出向きそこから支援のあり方を考え実際に行動に移し、活動している。このことから自分たちにもできることがたくさんあることも学べた。

### 実践授業を通しての所感・反省と今後の展望

今回の授業を通して、タンザニアを初めとするアフリカの国々と日本とのつながり、3月11日に起った東日本大震災直後からの開発途上国からのお見舞いや支援の依頼の多さに驚くと共に、国と国との絆の大切さを認識できた生徒が多く見られた。この絆は国と国が最初にあるのではなく、人と人の絆があってこそのものであることも伝えることができたのではないかと思う。アンケート結果から、タンザニアの中学生の「学校」や「学ぶ」事の大切さも再認識できたのではないかと思う。

「おいしいチョコレートの真実」では自分たちと同じ年又はそれ以下の子どもたちが毎日働かなければならない現実を知り、私たちが直面する様々な矛盾・格差なども考えるきっかけの一つとなったことだと思う。

しかし、開発教育で大事な次のステップ、「知る」から「行動する」へは未だに踏み込めていない。今後は、この研修をともに参加した仲間と授業実践を共有しながら、小・中・高の連携を深め、自分自身も含め、一人でも多くの生徒や保護者の方々、地域の方々が必要な一歩からでもできる支援や協力は何かを考えそれらを行動に移せるきっかけとなる学習計画を立てていきたい。

#### 《参考文献》

池上 彰 (2010) 『世界を救う7人の日本人』 日経 BP 社

特定非営利活動法人 ACE (2008)

「おいしいチョコレートの真実—働く子どもたちとわたしたちとのつながり—」 ACE  
NHK 「地球データマップ — 世界の貧しさのためにできること」 NHK

山本 敏晴 (2002) 『世界で一番いのちの短い国—シエラレオネの国境なき医師団』 白水社